

第6学年 社会科学学習指導案

期 日 平成17年9月13日(火)5校時

対象者 男11名 女6名 計17名

授業者 第6学年担任 千葉 真

1 単元名 新しい時代の幕あけ

「西洋に追いつけ」(小学社会、6年上、教育出版 78ページ)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は指導要領の(カ)「黒船の来航、明治維新、文明開化などについて調べ、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かること」を中心に学習を進めていく。

特に「西洋に追いつけ」の学習では、地租改正と富国強兵、殖産興業に焦点を当て、政府は財政の安定と強い軍隊作りに取り組み、国の制度を近代化し、西洋に負けない国づくりに取り組んだことをとらえさせる。また、その他の近代化として、交通では鉄道の開通、工業では官営工場の建設などにもふれていく。

(2) 児童について

6年生17名は積極的に社会科の学習に臨んでいる。教師から問いかけられる歴史の「はてな」に対して、一生懸命知恵を絞り真実に迫ろうとしている。

授業では教科書資料を多く活用し、そこから学習課題につなげ解決を図ってきているが、児童は、学習の過程で資料の細かいところにも着目し、疑問を持ったり、課題に気づいたりすることができるようになってきている。

一方、個々では自分の意見は言えるが、自らの考えを集団思考の場で示し、意見を交換し合うといった場面が少ないことが課題の一つであるといえる。

本単元では、日本が近代化を進める中で世の中の様子や人々のくらしがどのように変化していったか、また世界の中で日本がどのように活動していったのかを学んでいく。自分の生活経験とかかわらせることで児童の興味を喚起し、その社会的事象に対して自分の考えや意見を持ち、相互に発表し合える場面作りに努めていきたい。

(3) 指導について

本単元で扱う近代の歴史は、政治や経済の状況、国際関係、社会の変化と、そのどれをとっても複雑で急速な展開を見せるため、児童にとっては理解が困難になる場合がある。

そこで指導にあたっては、具体的な事例や資料に基づいた学習展開を心がけていく。具体的には、その時代のさまざまな事象や歴史的背景の情報が詰まっている教科書資料の活用を基本とする。

その活用に当たっては、特に、次の点に留意しながら進めていく。

子どもの思考の流れやねらいにふさわしい資料を選択する。

資料を与える際の視点の与え方を吟味する。

資料提示の方法を工夫する。

これらの点に留意することが、児童が興味を持って学習に臨み、思考を促すことになると思う。

また、地図帳も活用し、地理的な感覚も持ちながら学習を進めていけるような展開も心がけていく。

3 単元の目標

黒船の来航をきっかけに開国した日本が、欧米の文化を取り入れ近代化を進める中で、憲法の制定や産業の発展したことについて、理解と関心を深める。

4 単元指導計画

(1) 単元の評価規準

- 【社会的事象への関心・意欲・態度】 欧米の文化を取り入れ近代化を進めていった日本の様子と人々の暮らしに興味を持って学習に取り組んでいる。
- 【社会的な思考・判断】 明治時代が始まり、人々が新しい政治に対して持っていた願いについて考えることができる。
- 【社会的な事象に対する知識・理解】 明治政府が軍隊を整備し、産業を豊かにし、西洋諸国に追いつけるような国づくりをめざしたことがわかる。
- 【観察・資料活用の技能・表現】 明治時代になって西洋風のものや考え方が多く取り入れられたことを資料をもとに読み取ることができる。

(2) 単元の指導計画と具体的評価規準

中・小単元名 ・項目名	配 時	主な学習活動	具体的評価規準			
			評価項目	十分満足	おおむね満足	支援の手立て
1 新しい時代の幕あけ	7					
黒船が来た	1	<ul style="list-style-type: none"> 黒船やペリーについて人々はどう考えたか調べる。 ペリー来航の目的について調べる。 黒船来航で日本がどう変わっていくか予想する。 	知識・理解	江戸幕府の、黒船来航に対する対応の過程を理解し、開国後の欧米各国との交流の様子を読み取ることができる。	アメリカの武力を恐れた江戸幕府が鎖国をやめ、欧米各国と交易を始めたことを理解できる。	黒船の様子などから外国の力の強大さを説明し、日本が武力を恐れて開国し交易を始めたことを理解させる。
江戸幕府が倒れる	1	<ul style="list-style-type: none"> 打ちこわしの絵から開国後の日本の様子を予想する。 米価のグラフから開国の影響を調べる。 人々の不満から江戸幕府がどうなったか調べる。 	思考・判断	開国の影響で経済が混乱し人々の暮らしが変わっていったことをとらえることができる。	開国したことで人々の暮らしが大きく変わっていったことがわかる。	打ちこわしや百姓一揆の資料から、民衆の気持ちに気づかせる。
新しい政府をつくる	1	<ul style="list-style-type: none"> 五箇条の御誓文から明治政府の目指した政治を調べる。 身分の割合のグラフから四民平等の内容について考える。 新政府の改革について人々はどう考えたか予想する。 	思考・判断	新政府の進めた改革について、人々の願いや生活と関連付けて考えることができる。	新政府の進めた改革について、自分の考えを持つことができる。	幕末に人々がもった不安を思い出させ、それが改革によってどうなったか考えさせる。
西洋に追いつけ 【本時】	1	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道の錦絵から、町の様子の変化について読み取る。 富岡製糸場の錦絵から殖産興業の広がりを読み取る。 西洋に追いつくために日本がとった政策をまとめる。 	知識・理解	地租改正、徴兵令、官営工場建設の内容と目的が理解できる。	西洋諸国に追いつくために、地租改正、徴兵令、官営工場建設等の改革を行ったことがわかる。	絵図を参考にさせて、新政府の国づくりを整理して説明する。
まちの暮らしが変わった	1	<ul style="list-style-type: none"> 明治初めの東京の様子から、人々の暮らしがどのように変化したか調べ、江戸の町並みの様子と比較する。 小学校の授業の様子や就学率のグラフから子どもたちの暮らしの変化を調べる。 西洋風の制度や考え方はどう広まったか考える。 	技能・表現	絵をもとに、江戸時代との違い、変化を具体的にとらえ、西洋風の制度の広まりをとらえることができる。	絵をもとに、江戸時代との違い、変化をとらえることができる。	資料の細部にまで、目を向けさせ、変化に気づいた点をできるだけたくさんあげさせる。
自由民権運動が広がる	1	<ul style="list-style-type: none"> 西南戦争がなぜ起こったのか予想し、調べる。 自由民権運動の錦絵のせりふを考える。 自由民権運動の高まりによって政治はどのように変わっていったのか考える。 	関心・意欲 態度	自由民権運動に対する人々の願いに関心をもち、的確にとらえ、せりふを考えることができたか。	自由民権運動に対する人々の願いについて関心をもち、せりふを考えることができたか。	資料にでてくるそれぞれの人々が、なんのために集会に来ているのかおさえる。
国会が開かれる	1	<ul style="list-style-type: none"> 五日市憲法の内容を読み人々の願いについて考える。 大日本帝国憲法制定までの経緯について調べる。 日本が憲法を整え国会を開設した目的と、それによって社会がどう変わったか整理する。 	技能・表現	人々の求めていた政治の姿と、大日本帝国憲法を比較して、政治の動きを調べることができる。	大日本帝国憲法と五日市憲法の違いから人々の願いを調べることができる。	自由民権運動の要求や、五日市憲法から、人々の願いに気づかせる。

5 本時の指導

(1) 目標

- ・明治政府が、産業を盛んにして国を富ませ、近代的な軍隊を組織して西洋諸国に追いつけるような国づくりを目指したことがわかる。

(2) 展開

時間	学習活動・内容	活用する資料	発問・指示 / 視点	期待する思考の流れ・反応
つかむ 8分	<p>1 課題をつかむ</p> <p>(1) 資料 から暮らしの変化を読み取り、西洋に追いつこうという明治政府の方針を確認する。</p> <p>【改革】 鉄道整備 輸送力のある国を目指す</p> <p>(2) 課題を提示する。</p> <p>政府は西洋に追いつくために、どのような改革を行ったのだろうか。</p> <p>(3) 予想を立てる。</p>	<p>鉄道の錦絵</p> <p>【パワーポイント】 拡大・トリミング 編集・分割</p> 	<p>生活の様子が変わったところをさがしなさい</p> <p>【視点】 モノ、人、服装、乗り物</p> <p>【活動】 調べる ノートにまとめる 発表する</p> <p>海の上に鉄道を走らせたのはなぜか。</p> <p>【視点】 陸上の生活の様子、船</p> <p>海上敷設してまで鉄道整備を行った(急いだ)理由は何か。</p> <p>【視点】 世界の中での日本の立場</p> <p>明治政府は西洋に追いつくために、どのような改革をしたか予想しなさい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人がいる。馬車や人力車がいる。服装が洋風。 ・船がたくさん行き来している。 ・川、池、海のようなところに鉄道がある。 ・多くの人々(馬車・人力車・船会社)に反対されたから。 ・鉄道を敷くための土地を売ってもらえなかったから。 <ul style="list-style-type: none"> ・輸送手段の確保、交通力を強める。 ・西洋に追いつきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・軍隊を強くした。 ・お金をたくさん集めた。工場を建てた。
しらべる 27分	<p>2 課題を追究する。</p> <p>(1) 殖産興業について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 から工業の変化を読み取り、外国から進んだ技術や知識を得たことを確かめる。 ・ 資料 から日本がどんな国を目指したのか考える。 <p>【改革】 官営工場 産業力のある国を目指す</p>	<p>地図帳 富岡製糸場</p> <p>【ピクチャーギア】 拡大・トリミング</p>  <p>繭</p> <p>【実物】 教科書本文</p>	<p>今までの日本の様子と変わっているところはどこかさがしなさい。</p> <p>【視点】 人々の様子・建物・機械・変化</p> <p>【活動】 調べる ノートにまとめる 発表</p> <p>国づくりと官営製糸工場にとは、どのようなつながりがあるのか。</p> <p>【活動】 ノートにまとめる 発表</p> <p>富岡製糸場は儲からなかったのだが、どうしてだと思っか。またそれでも良かったのはなぜか。</p> <p>【活動】 考える 話し合い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの女性が働いている。建物が立派。 ・最新式の機械を使っている。・外国人みたいな人がいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・外国人がたくさん給料をもらっていたからもうかってはいなかったのかな。 ・技術や知識をたくさん得ようと思っていたのかな。 ・産業をさかんにして、国を大きくしようとしたのかな。 ・技術力を持って製品を生産する力をつけたのかな。 <p>評価【ノート】</p>
	<p>(2) その他の改革について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 徴兵令の内容と目的を調べる。 ・ 地租改正の内容と目的を調べる。 <p>【改革】 徴兵令 軍事力のある国を目指す</p> <p>【改革】 地租改正 経済力のある国を目指す</p>	<p>教科書本文 資料集</p> <p>【参考資料扱い】</p> 	<p>徴兵令・地租改正の内容と目的を調べなさい。</p> <p>【視点】 どんな内容か。目的は何か</p> <p>【活動】 調べる アンダーライン</p> <p>徴兵令と地租改正でどんな国をめざしたのか。</p> <p>【視点】 な国というまとめ方</p> <p>【活動】 考える 発表する</p> <p>この改革は民衆に受け入れられたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他にどんな改革をしているのかな？ ・徴兵令で国民の軍隊をつくったのだな。 ・地租改正で、年貢から現金に税金が変わったんだな。 <ul style="list-style-type: none"> ・お金のたくさんある国をめざしたのかな。 ・軍隊の強い国をめざしたのかな。 ・民衆は地租改正をどう思っていたのかな。 ・反対したのかな。 <p>評価【ノート】</p>
まとめる 10分	<p>4 まとめる。</p> <p>(1) 明治政府の諸改革を振り返り、目指した国づくりをまとめる。</p> <p>(2) 改革に対する自分の考えをまとめる。</p>	教科書本文	<p>4つの改革はそれぞれどんな関係があるか。</p> <p>【活動】 考える 発表する。</p> <p>自分が政府だったらどの改革に力を入れるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・官営工場で作った武器を鉄道で運ぶことができる。 ・地租改正でたくさんお金を集めて、官営工場を作る。 ・国力をつけるために、いろいろな改革がかかわっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・戦争で負けないうために、徴兵令に力を入れる。 <p>評価【ノート】</p>

(3) 評価

具体の評価規準	十分満足できる	概ね満足できる	支援の手立て
明治政府が、産業を盛んにして国を富ませ、近代的な軍隊を組織して西洋諸国に追いつけるような国づくりを目指したことがわかる。	・教科書の本文や資料をもとに地租改正、徴兵令、官営工場建設の目的と内容について調べ、西洋に負けない国づくりを目指したことを理解できるとともに、改革についての感想を持つことができる。	・教科書の本文や資料をもとに地租改正、徴兵令、官営工場建設の目的と内容について調べ、西洋に負けない国づくりを目指したことを理解できる。	・P79の絵図を参考にさせて、新政府の国づくりを整理して説明する。 ・4つの改革(鉄道・官営工場・徴兵令・地租改正)と4つのめざす国(輸送力・産業力・軍事力・経済力)の言葉をそれぞれ同時に提示し、それらを結ぶように指示する。

(4) 板書計画

